

## 2 認知症の進行に合わせた支援の流れ

\*症状や進行には個人差がありますので、今後を見とおす参考にしてください。

### 症状はあっても日常生活は自立している

本人



- 約束を忘れたり、置き忘れやしまい忘れが増える
- 身だしなみを気にしなくなる
- ふさぎ込んで何をするのもおっくうで、いやがる
- 自分の失敗を人のせいにする



日常生活は自立しているが、「なんだかおかしいな」ということに気がついています・・・

- 社会や地域とつながろう
- 認知症についての知識を得よう
- 「いつもと違う」と気になり始めたら・・・

家族

かかりつけ医がない場合

かかりつけ医がいる場合

- 地域包括支援センター (P.13)
- 在宅介護支援センター等 (P.14)

生活の様子や気になること等をメモして、かかりつけ医に相談しましょう

《暮らしの工夫》

☆いつも持ち歩く物は一つにまとめておく ☆大切な物の置く場所を決めておく

ポイント

地域

交流の場 (P.9)

- 元気☆はつらつ運動教室
- 介護予防講演会
- 介護予防セミナー
- いきいき百歳体操
- 介護予防運動
- 地域サロン等



医療 (P.14)

- かかりつけ医
- 認知症サポート医
- むつ総合病院 認知症疾患医療センター等



### 〈認知症の人との接し方〉

- 認知症の疑いはあるが、病院の受診をいやがる



- 約束を忘れる



- 健康診断として受診してもらう
- 元気でいてほしいことを伝え、受診を促す
- 先生に相談してみようと受診を勧める

- 前日に連絡しておく
- 当日一緒に誘う

- 本人の意向を聞かない
- 何度もしつこく誘う

- 忘れたことを責める
- いやな顔をする